振動試験

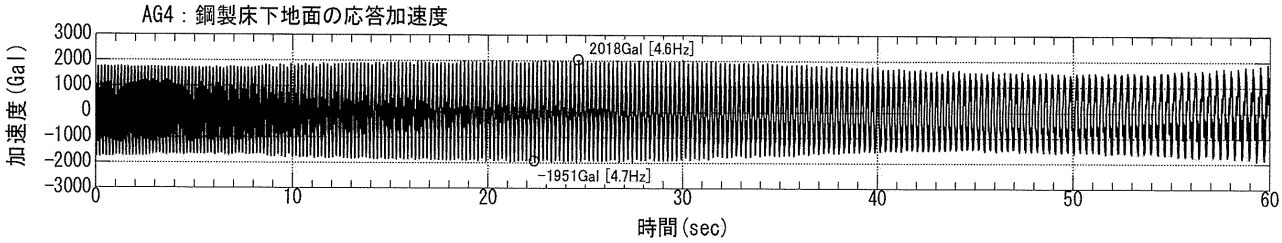
試験場所　（財）建材試験センター中央試験場
試験期間　平成２２年４月１４日
3000N は JIS A 1450 フリーアクセスフロア
構成材試験方法の規格による
支持台９本に対してブレースを１ヶ所設置の場合
（負担荷重面積　２．７ｍ×２．７ｍ＝７．２９㎡）

加振条件

目標入力加速度	1000gal (1.0G)
振動数範囲	6.0～2.6Hz
加振時間	60sec
載荷荷重	3000N 及び 7000N

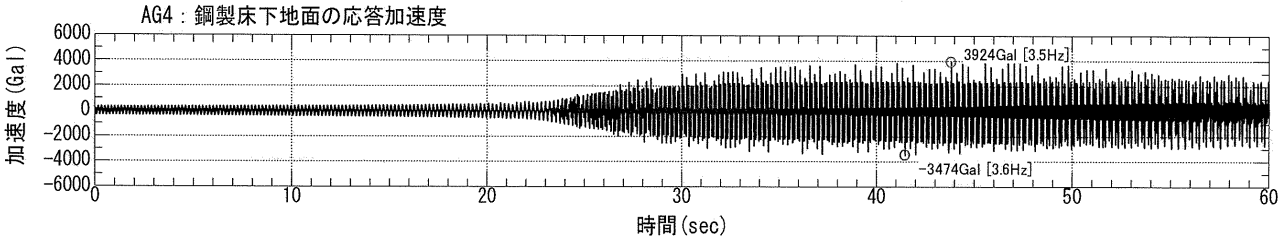
試験結果

載荷荷重３０００Ｎ　３０００Ｎ÷９．８≒３０６ｋｇｆ　１．０Ｇの結果
（負担荷重面積　２．７ｍ×２．７ｍ＝７．２９㎡）＝４１．９９ｋｇｆ／㎡



目視観察による試験体の状況　　異常なし

載荷荷重７０００Ｎ　７０００Ｎ÷９．８≒７１４ｋｇｆ　１．０Ｇの結果
（負担荷重面積　２．７ｍ×２．７ｍ＝７．２９㎡）＝９７．９ｋｇｆ／㎡



目視観察による試験体の状況　　支持台上部ねじ部分の変形

載荷試験

上記　載荷荷重７０００Ｎ　１．０Ｇ振動試験後の試験体に実施

振動試験後の試験体に JIS A 6519 規格の鉛直載荷たわみ試験及び繰返し衝撃性試験を実施。

載荷荷重　14.7kN/㎡　≒　1,500kgf/㎡
最大たわみ量　　18.97mm　＜　20 mm以下（JIS 規格値）
最大残留たわみ量　0.86mm　＜　1.5mm以下（JIS 規格値）
目視で観察した結果、有害な破壊、緩み、外れがなかった
（たわみ量は振動試験体が JIS A 6519 規格より小さいため通常より大きくなっている。）